



HPはこちら

神戸徳洲会病院 検索

記念すべき
創刊号です！

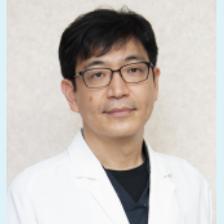


院長コラム

「あなたが見ているその色は涙が出るほど美しい」

もうとっくに不惑をすぎてやはり人生に迷い続ける私は、多くの同年代の人と同様に「近くが見えない病」という不治の病にかかってしまって本当に困っているわけですが、なにぶん外科なんて仕事を本業としているだけにピントが合わないことほどつらいことはありません。今まで見えていたものが、思うように見えなくなるというのは本当に強い喪失感があります。というわけで、遠近両用とパソコン画面用と読書用と三つのメガネを使い分け、さらに手術室に行けばサージカルルーペと腹腔鏡用メガネを使い分ける状況です。きっと心の奥底ではそうやって視力の喪失感を埋め合せているのかも知れません。

色覚異常の人たちは、いろいろなタイプがありますが、比較的頻度が高いのは緑色と赤色の区別がつきにくくなる2色覚の人たちで、この人たちが特定の色調の光をカットする色覚補正メガネをかけると二色の世界からはっきり色が区別できるようになります。このメガネは昔からあるようですが、ここ10年ぐらいで見えやすさが大きく進歩したようです。初めて色覚補正メガネをかけて色の違いをみた色覚異常の人たちの動画が、youtubeなどの動画サイトにたくさんアップされています*。「空の色がこんなにたくさん色をしているなんて」、「こんなのみたことないよ」そう言って感激のあまり涙をながす人たちが多数います。本当に何気ない普段の景色がカラフルにみえるだけで、こんなにも感動するものかと見ているこちらまでもらい泣きしそうな動画でした。日本人の体験談にはすき家の看板が鮮やかに赤いことに気づいて「すき家の牛丼がおいしそうに見える」なんて話もありました。コメントにもありましたが、ふだん何気なく見ているその色がそんなにも美しいものだなって私たちは全く気づいていません。失った調節力を嘆くよりは、自分が見ている色の美しさを思い出す方が大事な事かもしれないと思った動画でした。



院長 富田 雅史



*動画はこちらから
ご覧頂けます

topics/

屋上農園で芋掘りを楽しみました！

神戸徳洲会病院の屋上では、警備員の方がお世話をしている屋上農園があります。沢山ジャガイモができたので、院内保育園のお子さんが芋掘りをしました。(院内保育園とは病院職員のお子様専用の保育園です)日差し対策を万全にして、先生に手伝ってもらいながら、とても楽しそうに体験していました。



採れたジャガイモは栄養科の方々が職員食堂で皮付きフライドポテトにしてくれました。無農薬のジャガイモはほんのり甘味があり、ホクホクでとても美味しかったです。その後屋上農園ではスイカやヒマワリなど夏を感じさせる農作物が沢山栽培されています。これからも屋上農園の花や野菜を通して、季節を感じるのが楽しみです。本誌やSNSでお知らせします。



最新のCTを導入しました。

2021年4月より、最新型2管球搭載CTを導入致しました。新CT装置は2つの管球から同時にX線を照射しながら撮影が可能で、最速秒間46cmという超高速撮影が可能となりました。外傷患者や息止めが困難なお子さん、高齢の方にも優しい検査を行うことができます。従来より詳細な解剖学的画像を得ながら、同時に「患者さんに優しい」CT検査が可能になりました。



内視鏡センターをリニューアルしました。

2021年3月のリニューアルに伴い、より負担の少なく高度な検査・治療を行うために最先端の内視鏡システムを導入しました。胃カメラ、大腸カメラはもちろんのこと早期癌の治療・胆道系内視鏡治療が可能です。グループ病院の消化器内科専門医と連携し、検査・治療に取り組んでいます。



公式SNSを開設致しました！ぜひチェックしてみてください♪



インスタグラム

病院の最新情報や少しほっこりする日常の情報を投稿しています。



フェイスブック

病院の最新情報や各種講演会情報、求人情報を投稿します。



ユーチューブ

富田院長の挨拶や病院紹介動画を投稿します。



ツイッター



富田院長語録を
発信しています！